



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報 大森 海苔のふるさと館 ニュース65号

てく海苔と浜辺のまち歩きガイド 所要時間約30分 コース③

館の周辺をお散歩してみませんか。海苔や浜辺の面影が分かる場所を数回に分けて紹介します。

今回は、美原通りの南側のコースを紹介します。老舗のお店や美味しいものにも出会える地元密着の商店街を楽しめます。

⑧番の諏訪神社は、国道から約300メートル西側にあります。余力がある方は、足を伸ばしてみてください。

(五十嵐)



①山崎呉服店

海苔の仕事着のボータや被布袴纏などの仕立てもしていた。しかし、今では仕立てられる職人がわずかになってしまったとのことである。



②餅甚

享保元年 (1716) 創業。初代は静岡出身で、東海道を行き来する旅人にあべ川餅などの茶屋を開いたのが始まりと伝えられている。まつりや寄り合い、海苔漁場の場割り (漁場の区画割り)

の作業後などには、お神酒と和菓子の慰労が行われ、大福や名物のあべ川餅など多くの注文が入った。

今は、10代目店主がご息子とともにその伝統の味を守っている。

店内には、船の底板で作られたかつての看板が飾られている。



● は店頭販売している海苔問屋。

③するがや通り(旧羽田道)

歌舞伎「浮世塚比翼稲妻」(鶴屋南北作)で有名な旅籠「駿河屋」が内川のたもとにあったことから、「するがや通り」と名づけられた。

元々は羽田道で、羽田の魚介類を江戸に運んだり羽田弁財天や川崎大師参詣の道として利用された。産業道路ができるまでは羽田と大森を結ぶ主要道路だった。



④産業道路

大森警察署から大師橋、川崎へ通ずる道。昭和7年（1932）に大鳥居までの道が完成した。昭和14年（1939）には多摩川を渡る大師橋が完成し、京浜工業地帯と東京を結んだ。

⑤大森警察署と大森区役所跡

昭和6年（1931）、現在の大森警察署の地に大森町役場が建てられ、後に大森区役所として昭和15年（1940）まで使用されていた。戦時中は迷彩色に塗られ、区役所移転後は大森警察署の庁舎として使用された。



現在の大森警察署の入口には、大森の船大工が制作した海苔船の模型「平和丸」が展示されていて、誰でも気軽に訪れて見ることができる。

⑥国道15号線（第一京浜）

東海道拡張工事は9年の歳月をかけて昭和2年（1927）に完成し、京浜国道として整備された。人家が密集する三原通りと、道が曲折する六郷を避けて新国道が建設されたことから、今でもその2ヶ所は旧東海道の道筋が残る。

⑦開桜小学校（元寄木小学校）

明治8年（1875）、寄木小学校として開校した。後に大森第二小学校となり、平成14年に大森第六小学校と統合して、開桜小学校となった。明治時代には学校資金用の海苔漁場を持っていた。元海苔生産者の指導で学校で海苔つけの授業をしていたが、現在はふるさと館で体験している。

⑧諏訪神社

海苔生産者が多い山谷地域の鎮守。海苔生産終了後には、山谷丁場の海苔生産者によって海苔生産終焉を記した石碑「漁業納畢之碑」が建てられた。同様の石碑は貴船神社（大森東）にもある。

新収蔵品展

—海苔の街を伝える道具たち

平成30年10月16日（火）
～平成31年1月20日（日）

今年4月、海苔のふるさと館は開館10周年を迎えました。開館以来、ふるさと館は元海苔生産者の方々をはじめ、多くの地域の人たちに支えられながら活動してきました。それと平行して、ふるさと館には多くの道具が寄贈されました。それらは、かつて大森で海苔養殖が行われていた頃の暮らしぶりを今に伝える、貴重なものばかりです。

今回の企画展では、新しく寄贈されたものの中から、網針・目板や石油ランプ、重箱といった海苔生産に関係する道具と、神社のお祭りで使われたマスや、大森漁業協同組合のマッチ箱といった、海苔の街を象徴する道具をご



石油ランプ
(船上作業用)



重箱(海苔つけ用)

紹介します。展示を通じて、海苔の街であった大田区の歴史を振り返っていただき、海苔と共にあった頃の街の様子を思い返していただければと思います。

また、皆様のご自宅にも、写真のような道具が眠っているかもしれません。情報がありましたら、ぜひふるさと館までご連絡ください。（三好）



三輪蔵島神社の節分用一升枡



水産組合由来の信用金庫のマッチ箱



網針・目板
(海苔網用)

特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」65号

平成30年10月1日発行
編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区
平和の森公園2番2号
TEL 03-5471-0333
FAX 03-5471-0347

海苔のふるさと会
会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。